



A C C

同窓会
25号 会報

愛知工業大学情報電子専門学校同窓会

〒471-0079 豊田陣中町 1-21-1

TEL <0565> 32-8181

会長挨拶 太田 淳



この春、ACEをご卒業になり、同窓会員になられました皆様、ご卒業おめでとうございます。

ACE同窓会の皆様、ご安全にお過ごしでしょうか。

昨年から続く新型コロナウイルスの影響は、緊急事態宣言や蔓延防止措置の再発出により様々な影響が出ており、皆さんも先の見えない状況の中で、日々頑張っておられると思います。

この春に卒業された皆さんに置かれましては、授業の休講、企業展などのイベント延期・中止など、厳しい一年を戦い抜いて来られたと思います。

これからの社会人生活で、時に無理難題を突き付けられたり、理不尽な事を要求されたりといった場面にも遭遇するかとは思いますが、その時にはこの一年を戦い抜いた、皆さんの経験を生かして決して「諦めず」「やり遂げて」行って欲しいと思います。

自分が判断する材料となるのは自分の経験が大きいです。

無理難題な壁も諦めず考えに考えて、前向きに突き進み壁を乗り越えたら、それは各人の力(知識、経験)に繋がるはずです。

昨日よりも良い明日、明日よりも良い明後日を目指して共に歩いていきましょう。

今年は、昨年延期をさせていただきました同窓会総会・懇親会の実施を予定しておりましたが、昨今の情勢より中止とさせていただくこととなりました。ご参加をご検討いただいていた皆様には、ご迷惑をおかけし申し訳ありません。なお、来年実施予定の定期総会につきましては、実施ができるよう開催の方法も含め、これから検討していきます。

決まった内容は、ホームページにて発信していきますので、皆様確認をお願いいたします。

最後になりましたが、皆さんのますますのご活躍とご健康をお祈りいたします。

校長挨拶 飯吉 僚



同窓生の皆さま、お元気でお過ごしのことと思います。母校ACEの近況をお伝えします。

新型コロナウイルスが各地で猛威をふるっています。

ACEの学校行事もその影響下にあり、行事の一部に縮小や変更はありましたが、令和2年5月から開始した授業は中断することなく継続できました。

令和2年度の卒業式は令和3年3月17日、複数の教室に分散して実施しました。主会場は4階大教室にして代表者が参加し、他の教室には主会場の様子をビデオ配信しました。この日、卒業証書を手にした116名が同窓生の皆さんの仲間入りをしました。卒業生の多くは企業に就職、20名は編入学で大学に進学しました。進学先は愛知工業大学14名、他大学6名でした。これで卒業生の総数は 2342名になりました。同窓生の皆さん、新たに入会した後輩の方をよろしくお祈りいたします。

令和2年度はACEにとってうれしいニュースがありました。高度情報処理学科1年生の坂井田逸斗君がU-22プログラミング・コンテスト2020に応募し、出品した作

品スマホ・アプリ『3密チェッカー』がテクノロジー部門で見事最高賞の経済産業大臣賞を受賞しました。『3密チェッカー』については、ニュースなどですでにご存じの方も多いと思います。坂井田君が開発したアプリは、「全応募作品のうち、機能性やアルゴリズムで大変優れており、作品制作にあたって高度な技術と知識を有している」との高い評価を受けました。

令和3年度の入学式は、4月8日、新入生102名を迎えて行いました。新入生を迎えたACEは、1・2年次ともに2学科4コースの新体制になりました。学科は高度情報処理学科とメカトロニクス学科です。コースは高度情報処理学科にコンピュータシステムとメディア情報の2コース、メカトロニクス学科に電子制御・ロボットとCAD・CAMの2コースです。ACEの今後の発展と皆さんの活躍が期待されています。

同窓生の皆さん、これからも母校の発展にご支援ご協力いただきますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご活躍を願い、挨拶とさせていただきます。



事務長 青木 陽一

同窓会の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。ACEに着任してあっという間に2年目を迎えることになりました。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、同窓会の皆様も、経験したことのない対応が求められ、色々な制約を余儀なくされたことと思います。専門学校でも、授業は、大幅なスケジュール変更を強いられ、当初、登校できず遠隔授業となりましたが、5月下旬からいち早く各種対策を行って対面授業を進めて参りました。卒業式・入学式は、密を避けるため、新しい試みとしてサテライト教室を設け開催しました。まだ収束しない中、教職員一同、少しでも学生が有意義に学校生活を送れるよう頑張っています。

さて、この3月には116名の卒業生を送り出し、4月には102名の新生を迎えることができました。卒業生の就活は新型コロナ下で大変厳しい状況でしたが90%を超える就職率を確保できたのも、また、入試にて211名もの志願者があったのも同窓会の皆様のご活躍のお陰であると感謝しております。

同窓会にも奨学金制度がありますが、昨年度から始まった「高等教育の修学支援制度」(授業料の減免・減額や給付型奨学金)の利用も積極的に勧めて、多くの学生に利用していただきました。対象学生は安心して学校生活を送れたことと思います。

事務に関しては、昨年度、学籍・履修・成績・入試などの新システムを導入し、今年度から運用を開始しました。皆様の信頼を得られるよう事務の安定化を図って参ります。

地域貢献では、本校は豊田市から企業を支える技術者を確保するように要請を受けて29年前に設置されましたが、原点に立ち返り、中小企業社員向け製造技術者育成講座を本校で開講して参ります。

専門学校の自己点検評価については、昨年度から外部の評価委員に評価していただきましたが、同窓会の役員にも評価委員になってご協力いただきました。

同窓会の皆様には、引き続き母校ACEの発展にご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。皆様のご活躍とご多幸を心よりお祈りいたします。



広報担当 堀 歩

卒業生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。広報では、進路を検討中の高校生や保護者の方へ向け様々な広報活動を行っています。

- ①体験入学の開催
 - ②高校訪問・学校案内
 - ③高校での進学説明会参加
 - ④各会場でのガイダンス参加
 - ⑤パンフレット・ホームページの作成・更新
 - ⑥進学情報誌掲載
- 等になります。

その中で一番PRに繋がるのは、卒業生の皆様の活躍です。実際に高校訪問で進路の先生方に、卒業生の活躍を伝え、「ACEへ行って頑張れば先輩方の様になれると学生には薦めておきます」と、仰って下さる先生もいます。

また、ガイダンスに参加すると保護者の方々はやはり就職先や編入後の様子が気になるようで、まずその質問が多いです。その時に役立つのはやはり皆さんの活躍ぶりです。ぜひ今後も皆さんの活躍を多くの学生、先生方、保護者の方々に伝えていける様、今後とも素晴らしい活躍を期待しています。最後になりましたが、卒業生の皆様のご健康とご活躍を心からお祈り致します。



退任挨拶 宇佐美 信子

とても短い勤務となり大変残念ですが、4月1日より本山オフィスに異動となりました。専門学校では、先生方と学生さんとの距離が近く、日々の授業のことから、就職活動、生活面でのサポートまで、親身になって指導されており、そのこ

とが一番印象に残っています。同窓生のみなさんも、そんな思い出がたくさんあるのではないかと思います。今後とも同窓会のますますのご発展を祈念し、転任の挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございました。



着任挨拶 兼子 聡

はじめまして、2021年4月1日に愛工大情報電子専門学校へ着任しました、兼子と申します。

よろしくお願いいたします。

2014年3月まで続けて10年間、同校にお世話になっておりましたので2回目の赴任となります。

現在の社会情勢を見えますと、国内外でコロナウィルスに対する対応で苦慮しているところですが、少しずつ明るい希望が見えてきております。

「明日は今日より素晴らしい。」と信じて頑張りたいと思っております。パーフェクトではないのですが、努力して参りますので、よろしくお願いいたします。

最後に、ダイナミックに動いております高度な情報社会に於いて、社会に貢献されて活躍されている同窓会の皆さんに対して、今後の更なるご健闘をお祈り申し上げます。



高度情報処理学科

教授 村瀬 正敬



卒業生の皆様、如何お過ごしでしょうか。新型コロナウイルス（COVID-19）の影響で、仕事や日々の生活で、いろいろと不便な思いをされている方も多くお見えかと思います。本校も昨年から本年にかけて、感染対策に追われる日々が続いております。教職員、学生は基本的にマスク着用とし、学校構内への入出時の検温と手の消毒は勿論のこと、教室は可能な限り学生の座席間隔を広げ、窓の開閉、加湿器の設置などをして感染防止に努めています。令和2年度卒業式および令和3年度入学式は、会場を複数に分けてネットで中継して行いました。また、チャットツールとしてTeamsを活用した授業サポートも行っています。

高度情報処理学科は学科再編で、令和2年度よりコンピューターシステムコースとメディア情報コースの2つのコースとなりました。1年次は同じカリキュラム内容で、コンピュータの基礎的知識、基本情報技術者等の検定対策、C言語プログラミングなどの学習内容となり、2年次からは、それぞれのコースに合わせた学習内容となっています。コンピューターシステムコースは従来の高度情報処理学科と同様なカリキュラムとなっており、2年次にはコンピュータの応用的知識、データベース、Java、C#言語などの学習を行います。教員は両コースの授業を担当していますので、より多くの学生に接しサポートすることになり、忙しくはなりましたが、やり甲斐も感じています。

この3月に卒業を迎えた高度情報処理学科の学生は33名でした。コロナ禍の中で就職活動や編入学に臨み頑張った結果、就職者は22名、編入学者は9名となりました。資格試験では、基本情報技術者の4月、10月の会場試験が中止となり、CBT方式での受験が本年1月からの開始となる中での受験でしたが、卒業生の12名が合格することができました。その他、応用情報技術者3名、ITパスポート22名となりました。

このようなコロナ禍においてですが、令和2年度入学の坂井田逸斗君が「U-22プログラミングコンテスト2020」において、経済産業大臣賞（テクノロジー）とPCAクラウド賞を受賞しました。受賞作品は「3密チェッカー」（詳細はHP「U22-プログラミング・コンテスト2020」をご参照ください）で、まさに現在必要とされているソフトウェア作品であり、多くのテレビ・ラジオや新聞などでも取り上げられ話題となりました。

卒業生の皆様も、特にリモートワーク等の需要が高くなりACEで学んだコンピュータの知識を活かせる場面も増えていることもあり、各分野において研鑽を積まれ活躍のことと思います。最後になりましたが、皆様のご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げます。



情報工学科

教授 河合 忍



依然としてコロナ禍にあり、在宅勤務が「通常」となった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。大学などでは遠隔授業を行っているケースも多いようですが、私は個人的に対面授業推進派です。学生の顔を見て雰囲気を感じながら、時に授業内容を脇道に外れて眠気を覚ましたり、激を飛ばして集中力を高めたりできる対面授業が性に合っています。そんな私はもう古い人間なのでしょうか？(笑)

さて、R2年度の情報工学科についてご報告いたします。情報ネットワークコースでは、就職先として12社を新規開拓できました。DTP・Webデザインコースでは、CG-ARTS協会の検定試験で高い合格率を維持することができました。

また、令和2年度の学科再編により、新たに生まれ変わった高度情報処理学科メディア情報コースも2年目の授業がスタートしました。デザイナーを目指すカリキュラムで学んだみなさんは驚かれるかもしれませんが、2年生になってやっとIllustratorやPhotoshopを使い始めました。卒業制作の授業もありませんが、作品をコンテストに応募したいと思っていますので、どの授業でどんな課題を行うか悩みどころです。後期にはスマートフォンアプリ開発の授業も行われますので、学生たちも楽しみにしています。

社会のニーズに応じて、カリキュラムを見直し、卒業後には即戦力として活躍できるよ

う知識や技術が蓄えられる授業を目指しています。すでに社会でご活躍のみなさんのご意見も参考にさせていただきます。近況報告を兼ねて、ご一報をいただければ幸いです。最後になりますが、みなさんのますますのご活躍とご多幸を心よりお祈りいたします。

河合 忍 (skawai@ aitech.ac.jp)

森島 茂樹 (morisima@ aitech.ac.jp)

情報ネットワークコース

【新規就職先企業】

(株)ジェイテック、ニューロンネットジャパン(株)、トーテックフロンティア(株)、富士ソフト(株)、(株)ビーネックステクノロジーズ、大進精工(株)、(株)五十鈴商会、(株)ヒラテ技研、(株)メディアポイントサービス、システムスクエア(株)、(株)TMソリューション、(株)コーワメックス

DTP・Webデザインコース

【表彰】

豊田市民美術展 優秀賞

CG-ARTS協会 合格率部門優秀校(5年連続)



電子制御学科

教授 田中 正史



卒業生の皆さん、コロナ禍の中で大変な思いをされているかと思いますが、いかがお過ごしでしょうか。

それでは電子制御・ロボットコースの近況をお知らせします。おや、と思われた方、皆さんの頃の電子制御学科は、令和2年度よりメカトロニクス学科 電子制御・ロボットコースに変わりました。ますます必要となるロボット関連知識や技術者を育成するため、学びの内容を改めました。

そのロボットですが、私が工場の生産設備業務に携わっていた頃は、産業用ロボットは安全柵で囲って隔離した状態で使用し、危険な物として扱われていました。ところが現在では、柵もなく自分の隣でロボットが作業する「協働ロボット」なんて物が出てきました。自分の隣にロボット、そんな光景は以前では考えられなかったことです。制御技術が発達して確実な安全対策をとることが可能になった結果です。そのうちロボットと世間話でもしながら一緒に作業する日が来るかもしれません。

さて、令和2年度電子制御の卒業生は18名でした。3名が愛知工業大学へ編入学、15名が就職しました。コロナ禍

の中での就職活動は、会社見学はなく、筆記試験や面接試験はWebで行うなど一変しました。

そんな中、自動車メーカーのスズキ株式会社、ウレタン素材メーカーの株式会社イノアックコーポレーションなど、学んだ知識が活かせる生産技術関連業務へ就く者が多数でした。

卒業製作実習では、卒業生の皆さんが製作した作品を参考に、更なる付加価値を追加したロボットの製作に励みました。作品の一例として、無線操作のリモコンで、車体に取り付けたフルカラーLEDを点灯させ、点灯色（赤、緑、青、黄、紫、水色、白）をカラーセンサーで読み取り、走行方向を制御するマイコンカーを製作しました。ユニークな発想で、完成度も高い物が出来上がりました。

最後になりましたが、皆様のご活躍を応援するとともに、またお会いできる日を楽しみにしております。



メカトロニクス学科 CAD・CAMコース 教授 橋本 秀則



卒業生のみなさん、元気でお過ごしでしょうか。各持ち場、立場で鋭意努力され、ご活躍のことと幸いです。本学科は昨年、CAD・CAM学科からメカトロニクス学科CAD・CAMコースに変更となりました。旧電子制御学科と合併し、ものづくり系の学科として再出発しました。ものづくりはこの地方の基幹産業であり、今後も企業や高校生にどんどんアピールしていきたいと思っています。また就職に関しては、コロナ禍にも拘わらず、本年度の求人もあまり落ち込みはなく、これも皆さんの各方面での活躍が大きな要因の一つだと考えております。今後共々よろしくお祈りします。

他には、平成18年度より1年生の「機械設計」と2年生の「機械材料」を担当して頂いた岩澤先生が昨年度を持ちまして退任されました。長きに渡り教鞭を執って頂いた事を感謝申し上げます。非常に厳しく指導いただき、みなさんも記憶に新しいのではないのでしょうか。しかし在学時は厳しいと感じた事も社会に出てからはそれが良かったと思った方も多くいると思います。なお後任は豊田高専の先生にお願いして授業を進めております。

最後になりましたが、健康に留意され、ますますご活躍されることを心より期待しております。

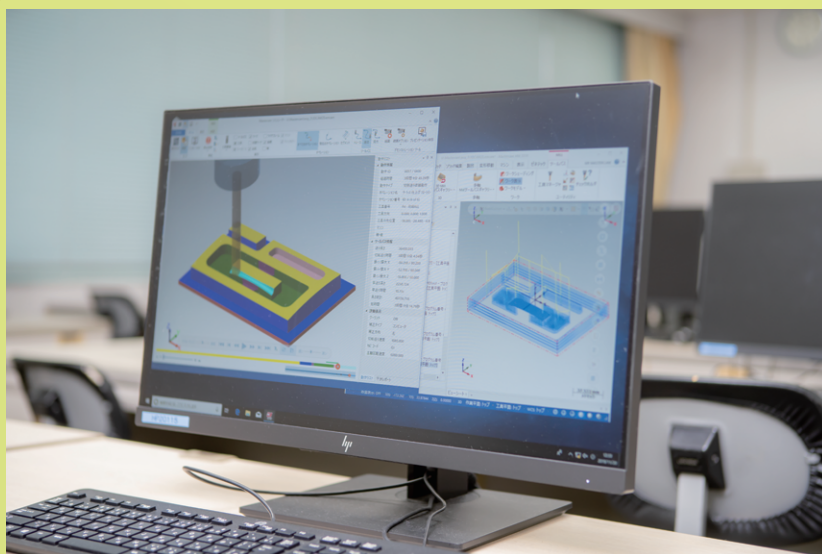
旧CAD・CAM学科 教授 岩澤 嘉昭

航空機開発設計の経験を基に機械設計等の授業を15年間担当し、この春退任しました。皆さんと過ごした日々は、私の心身への豊かな刺激となり健康の源でした。皆さんのご協力により滞りなく勤める事ができたことに対し、深く感謝申し上げます。毎年の楽しみであった新入生との初対面、苦楽を共にした講義の日々、皆さんの成長を感じた喜びの瞬間等が、今は懐かしく思い出されます。

皆さんは、卒業後それぞれの分野でご活躍の事と思います。たとえ重責の中で苦勞をしていたとしても、必ず答えは見つかります。その経験はやがて財産となります。

自動化、AI化が進む現代では、人の知識や知恵がこれまで以上に重視されます。それ故、今後も学習と自分への投資を続けて下さい。皆さんには、現実を見据えながら自らの役割を自覚すると共に、更なるスキルアップとその幅の拡大に努めつつ、今後も様々な立場で活躍し続けてくれることを期待します。

最後に、皆さんのご健康と母校ACEの一層のご発展を祈ります。



卒業式

令和2年度 卒業式

2021年3月17日(水曜日)、コロナウイルス感染拡大防止のため、卒業証書授与式の中止も考えましたが、規模の縮小、簡素化でご父兄と来賓には出席のご辞退をお願いし、402大教室で、卒業生の代表52名と理事長先生、校長先生の出席のみで令和2年度卒業証書授与式が挙行されました。

402大教室に入室できなかった卒業生はサテライト会場(300教室, 301教室, 303教室)でプロジェクターにより映し出された本会場の画面をみ、本会場と同じ緊張感を感じていました。

国歌斉唱に続き飯吉僚校長先生は式辞で「それぞれの進路において、本校エースで学んだ技術や知識を生かして、またさらに一層の研鑽努力を積み、社会の発展に貢献できるエースになれることを心から願っています」と言葉をかけられました。

卒業生を代表して高度情報処理学科 藤澤丈

さんは「愛知工業大学情報電子専門学校での努力の日々に自信を持ち、得た知識を活かしてそれぞれの進路を通じて、自己の目標の実現と社会への貢献をしていきたいと思います。」と謝辞を述べました。

令和2年度卒業生(116名)の学科・コース別卒業生数は以下の通りです。

高度情報処理学科(2年生課程)

33名

情報工学科 DTP・Webデザインコース

7名

情報工学科 情報ネットワークコース

30名

電子制御学科

18名

CAD・CAM学科

28名



入学式

令和3年度入学式

2021年4月8日(木曜日)に予定していましたが「令和3年度入学式」はコロナ禍により規模を縮小したものの無事挙行されました。

この時期なので、402大教室には65名と入室制限し、入室できなかった新入生はサテライト会場(300教室, 301教室)で本会場の様子を映し出した画面を見学するスタイルを取りました。

国歌静聴に続き、飯吉僚校長先生は式辞で、「学園の教育のモットーである「創造と人間性」の下、本校における勉学、友人や教職員との交流を通して、最新で本物の技術と豊かな人間性を身につけていただきたいと思います。まず着実に資格を取るなどして、実践力と自信を身につけていただきたいと思います。」と励ましの言葉をかけられました。

学園理事長の後藤泰之先生は「専門分野だけにとらわれずに幅広い視野を身につけ、自ら積極的に学んで正しい情報を掴み、自らの確な判断ができるような「人間力」を養ってほしいと思います。」と励ましの言葉をかけられました。新入生を代表してメカトロニクス学科CAD・CAMコースの山口琴実さんが「本校建学の精神をわきまえて、諸先生方のご指導の下、先輩の皆さんを見習って学則を守り、勉学に励んで

いきたいと思います。」と誓いの言葉を述べました。

新入生皆さんの門出をお祝いする場である入学式を昨年度は中止しましたが、今年は何としても開催したいとの強い教職員の思いから入学式が挙行されたことは、その規模の如何にかかわらず良かったと思っています。翌9日(金曜日)にオリエンテーションを実施し、新入生がACEでの新しい環境に早くなれることができるようにと担任から学生便覧の説明等を聞き、新しく始まるACEでの授業に期待し胸膨らませている様子がわかりました。

令和3年度入学者(102名)の学科・コース別入学者数は以下の通りです。

高度情報処理学科	コンピュータシステムコース	39名
高度情報処理学科	メディア情報コース	23名
メカトロニクス学科	電子制御・ロボットコース	17名
メカトロニクス学科	CAD・CAMコース	23名



就職 担当 山田 一敏

令和3年3月に卒業した学生は116名、進学者20名を除く96名の内、正社員として就職できた学生は87名で内定率は90.6%でした。

次に各学科の就職先を掲載します。

高度情報処理学科 2年制課程

(株)バリューソフトウェア
(株)アルプス技研
富士ソフト(株)
(株)KDDIエボルボ
豊田健康管理クリニック (3名)
(株)ニデック
旭情報サービス(株)
日本情報産業(株) (2名)
JBCC(株)
(有)AJIO
(株)システナ
NTPシステム(株)
NDSインフォス(株)
ユニバーサルコンピュータ(株)
セントラルエンジニアリング(株)
エイム(株)
(株)トランソニックソフトウェア
(株)コーワメックス
エアアイシステム(株)

情報工学科 DTP・Webデザインコース

シーキューブ(株)
NTTデータカスタマサービステクノロジー(株)
(株)エイブル・スタッフ
(株)長谷基業

情報工学科 情報ネットワークコース

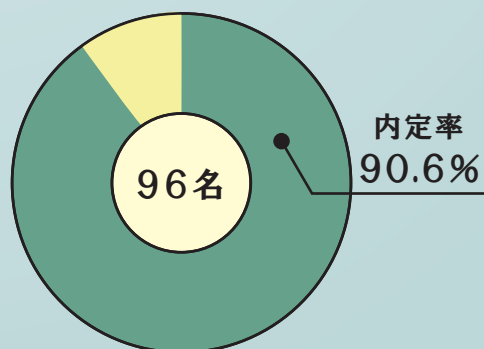
(株)ジェイテック
(株)ソルコム (3名)
ニューロンネットジャパン(株)
(株)One's House (2名)
富士インフォックス・ネット(株)
トーテックフロンティア(株)
(株)メイケイ
(株)TMソリューション
(株)ビーネックステクノロジーズ
富士ソフト(株)
(株)ユニテック (3名)
(株)オフィスメーション
システムスクエア(株)
大進精工(株)
(株)ヒラテ技研
(株)メディアポイントサービス
(株)コーワメックス

電子制御学科

(株)南成製作所
佐藤工業(株)
スズキ(株) (2名)
小野電気(株)
(株)イノアック・コーポレーション
(株)オチアイネクス
(株)アド・ソアー
(株)アルプス技研
(株)ヨコタエンタープライズ
(株)ヨドバシカメラ
衣浦部品工業(株)
加藤謙鉄工(株)
(株)テクノ菱和

CAD・CAM学科

(株)三重設計
鬼頭工業(株) (2名)
(株)チタ製作所
(有)岡本木型製作所
リョーエイ(株)
スズキ(株) (4名)
(株)富士ワールド
(株)畔柳工業 (2名)
泰成工業(株)
(株)LIXIL (2名)
アイジーエヴァース(株)
ニッター精器産業(株)
アール・ティ・エンジニアリング(株) (2名)
トヨタ自動車(株)
(株)夢テクノロジー
CKD(株)
住友重機械工業(株)
アンツエンジニアリング(株)



編入学 担当 河合 忍

5月11日と13日に令和3年度の新入生を対象とした編入学説明会を行いました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策として密集を避けるため、学科別に分けて行いました。

この状況からも編入学希望者が多いことがわかりただけだと思います。

説明会への参加者は68名で、参加者の割合は昨年度とほぼ同じでした。

そして、令和3年4月の編入学状況をまとめます。

編入学した学生は20名で、その内訳は、愛知工業大学14名、日本大学1名、中部大学2名、愛知工科大学1名、愛知産業大学1名、京都造形芸術大学（通信教育部）1名です。平成12年度の制度開始以降、22年間で254

名が編入学を果たしました。

そして、例年、愛知工業大学の教務課の方をお招きし、大学での学生生活や履修登録の注意などをご説明いただく入学前説明会は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、オンデマンド形式に変更となりました。

編入学を果たした学生のみなさんは、本校在学中から熱心に勉学に励んでいたことと思いますが、編入学後にはこれまで以上の努力と積極的な取り組みが不可欠です。何事にも好奇心を持ち、新たな仲間と環境で多くを学び、充実した2年間となりますよう心からお祈りいたします。

最後になりますが、学科別の編入学状況を掲載いたします。

高度情報処理学科 2年制課程

愛知工業大学	情報科学部情報科学科コンピュータシステム専攻	4名
愛知工業大学	工学部電気学科電子情報工学専攻	2名
愛知工業大学	経営学部経営学科経営情報システム専攻	1名
愛知工科大学	工学部情報メディア学科	1名
中部大学	工学部情報工学科	1名

情報工学科 DTP・Webデザインコース

愛知工業大学	情報科学部情報科学科メディア情報専攻	2名
京都造形芸術大学	通信教育部芸術教養学科イラストレーションコース	1名

情報工学科 情報ネットワークコース

愛知工業大学	経営学部経営学科経営情報システム専攻	1名
愛知工業大学	情報科学部情報科学科コンピュータシステム専攻	1名
愛知産業大学	造形学部スマートデザイン学科	1名
中部大学	工学部情報工学科	1名

電子制御学科

愛知工業大学	工学部電気学科電気工学専攻	3名
--------	---------------	----

CAD・CAM学科

日本大学	工学部航空宇宙工学科	1名
------	------------	----

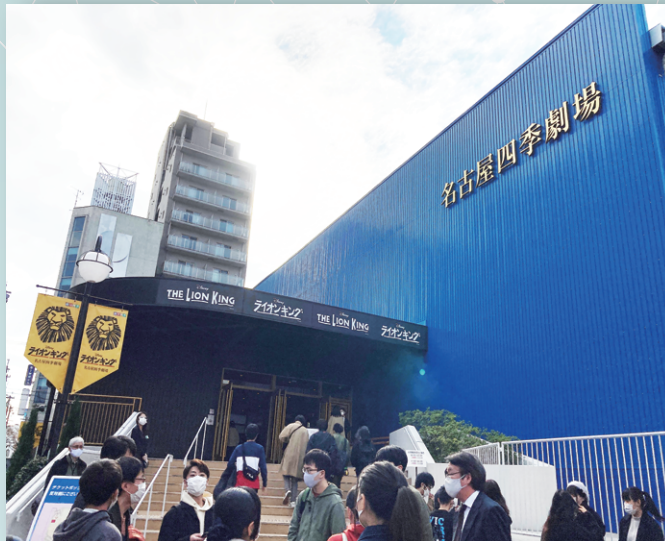


※写真は愛知工業大学

学生会行事

12月2日、名古屋四季劇場で劇団四季によるミュージカル「ライオンキング」を観劇しました。引き込まれる歌と演技に時間を忘れ、最後まで楽しむことができました。

5月27日にもナガシマスパーランドへ行く予定でしたが、新型コロナウイルスへの懸念もあり、断念しました。



名古屋四季劇場

懇親会延期のお知らせ

令和3年度は、昨年延期された同窓会総会と懇親会が行われる予定でした。

しかし、新型コロナウイルスの状況を鑑み開催をさらに1年間延期することになりました。

次回開催日については令和4年の春に改めてご案内する予定です。



過去の懇親会の様子

編集後記

同窓会会報の制作、駆け足でしたが楽しかったです。

制作を進めていく過程で、河合先生からこれまでの同窓会会報の話を聞き、卒業制作で作ったものをコンペの形式で選んでいたと知って、これまでの同窓会会報と並べてできるだけ見劣りしないようなものにしようと頑張りました。

未だ新型コロナウイルスに振り回されて、学生会行事や同窓会総会、懇親会などが延期になってしまっているのも、早く満足に行事ができる環境になって欲しいと思いました。

2人で制作しましたが、相方が優秀で良かったです。

(編集 田口)

同窓会会報の制作にあたって、デザインや編集を担当しました。デザインは後ろの背景模様ニューラルネットワークをイメージした模様を作りました。また、テキストボックスとしては windows のテキストファイルや通常のファイルのアイコンをオマージュして作りました。

編集内容としては、前半部分を担当させていただきました。

今回の作成を通して、私が今年度学んできた内容を生かし、作成に取り組み、復習を兼ねて自身のスキルアップに繋がったと感じています。

2人での作成でしたが、相方が後半をしっかりと作ってくれたのでかなり助かりました。

(デザイン・編集 長瀬)

今回、編集を担当してくれたのは、高度情報処理学科メディア情報コース（旧情報工学科 DTP・Web デザインコース）の2年生です。メディア情報コースでは、デザイン系の制作科目は2年生からスタートするため、ソフトの操作や編集も苦労したことと思いますが、短時間で仕上げてくれました。心から感謝です。

また、今年も総会と懇親会が延期となってしまいました。学校行事でも学生たちが楽しみにしていた長島スパーランドも中止となりました。

それでも令和3年7月2日現在まで、学生・教職員とも新型コロナウイルスの感染者を出すことなく、対面授業が続けられるのは幸せなことです。

来年こそ懇親会で、みなさんにお会いできることを楽しみにしています。

(河合 忍)